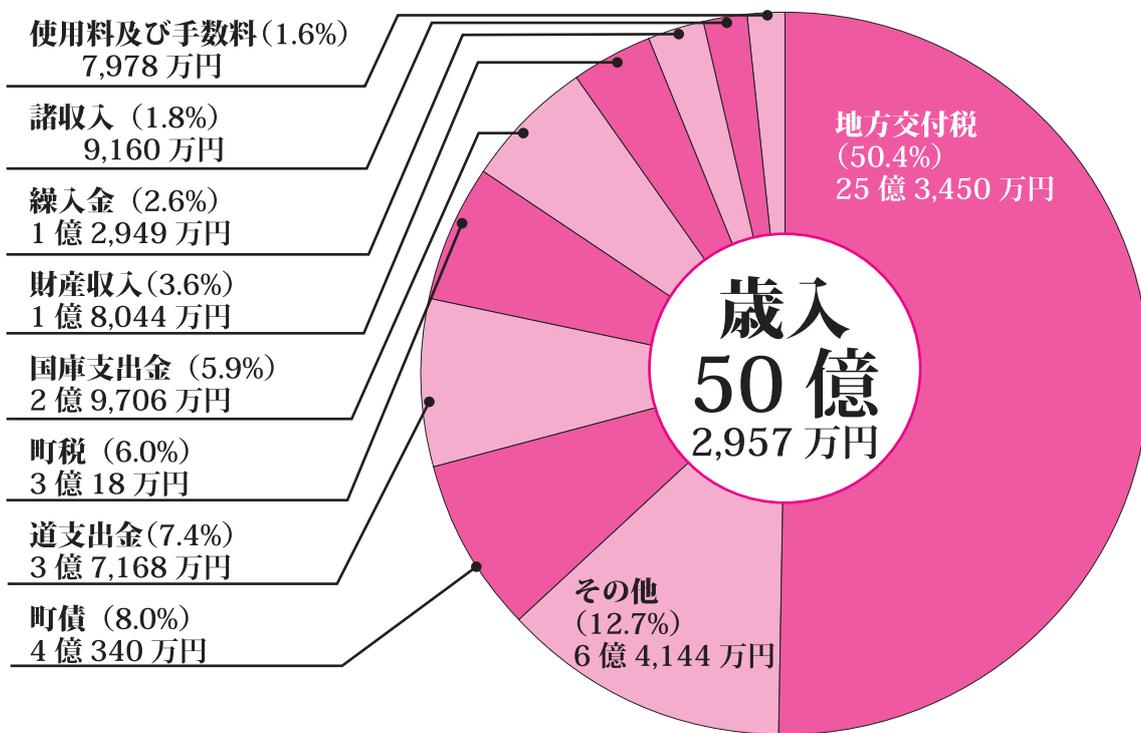


# 平成27年度 町の決算

まちの家計簿といえる平成27年度決算を公表します。  
町民みなさんから納めていただいた税金や国、道からの補助金等がどのように使われているかをお知らせするものです。  
年々、厳しくなる財政状況の中、節減に努め効率的な財政運営を行ない財源確保に最大の努力を図っていききたいと思  
いますので、町の行政について、皆さんの一層のご理解とご協力をお願い致します。



## 一般会計

一般会計の決算額は歳入が、50億2,957万円、歳出49億2,233万円で差し引き1億2,734万円の黒字決算となりました。  
町民の皆さんが納めた町税は3億1,800万円で1人当り

9万3,572円負担したことになります。

これに対し、1人当りに使われた費用は1億5,281,270円で黒字決算とはいえ依然、自主財源に乏しくその大半を地方交付税や町債(町の借金)に頼る財源内容となっております。

※備荒資金組合納付金・災害による減収補てん・災害応急復旧事業費やその他災害に伴う費用にあてるために、道内の市町村が一部事務組合を設立し積立を行っているもので、使い道が災害関連等に限定される普通納付金と、使い道に制約の無い超過納付金に分けられています。

## 町税の負担状況

人口3,208人(28年3月末)

税区分	決算額	構成比	町民一人当たり
町民税	1億3,135万円	43.8%	40,945円
固定資産税	1億2,971万円	43.2%	40,433円
軽自動車税	827万円	2.8%	2,578円
たばこ税	2,083万円	6.9%	6,493円
入湯税	1,002万円	3.3%	3,123円
合計	3億 18万円	100%	93,572円

## 借入金の状況 (一般会計分)

区分	平成27年度末現在高
農林水産	2,573万円
土木	3,607万円
公営住宅	5億1,108万円
公共事業等	8,372万円
過疎対策事業	13億3,164万円
一般会計出資債	1,114万円
緊急防災・減災事業債	1億9,467万円
臨時財政対策債	6億3,688万円
その他	5,347万円
合計	28億8,440万円

## 町有財産の状況 (平成27年度決算現在高)

土地	5,438,333㎡
建物	111,050㎡
山林	3,554,824㎡
車輛	78台
絵画	2点
有価証券	508万円
出資金等	3,524万円
基金(一般会計分)	32億2,907万円
備荒資金組合納付金	5億1,724万円

## 用語の解説

- 総務費…町の内部管理・税務・戸籍・選挙・統計などに要する経費です。
- 民生費…障がい者や高齢者等に対する福祉の充実、保育園運営などの経費です。
- 衛生費…生活環境の保全、ごみ処理などにかかる経費です。
- 農林水産業費…農業の振興に要する経費、生産基盤の整備などに要する経費です。
- 商工費…企業の振興及び夜高あんどん祭りなど観光の振興などに要する経費です。
- 土木費…道路維持改修、除排雪、公営住宅などに要する経費です。
- 教育費…幼稚園、小中学校の教育の充実、文化・スポーツの振興などに要する経費です。
- 公債費…町の事業を行うために借り入れた資金の返済に充てる経費です。
- 諸支出金…基金の積立金などに要する経費です。
- 職員費…職員給与などを支払う経費です。
- その他…議会費、消防費などの経費です。

商工費 (2.1%)  
1億383万円

教育費 (3.9%)  
1億9,309万円

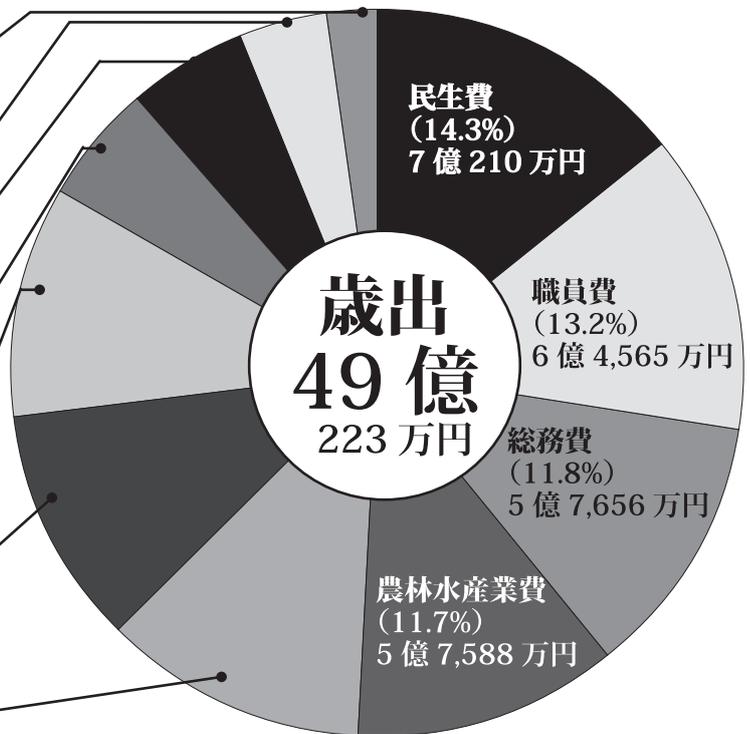
衛生費 (5.2%)  
2億5,536万円

その他 (5.4%)  
2億6,427万円

諸支出金 (10.3%)  
5億388万円

公債費 (10.6%)  
5億1,941万円

土木費 (11.5%)  
5億6,220万円



※特別会計と公営企業会計は、税・使用料・負担金・国道支出金のほか一般会計からの繰入金等で運営がなされ、効率的運用に努めています。

地方公営企業とは、地方公共団体が地域住民の福祉の増進を目的として経営する企業です。

### 公営企業会計

特定の事業に使われる経費を一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。

### 特別会計

## 特別会計

会計別	歳入	歳出
養護老人ホーム	3億1,240万円	2億7,312万円
特別養護老人ホーム	2億9,113万円	2億7,564万円
高齢者グループホーム	4,005万円	3,698万円
介護保険	3億5,353万円	3億3,459万円
国民健康保険	4億6,470万円	4億3,562万円
後期高齢者医療	5,455万円	5,448万円
公共下水道	2億850万円	2億750万円
合計	17億2,486万円	16億1,793万円

## 公営企業会計

会計名	区分	決算額	
水道事業会計	収益的	収入	1億3,087万円
		支出	1億4,365万円
	資本的	収入	240万円
		支出	4,831万円

# 平成28年度上半期 収支状況

平成28年度の上半期（4月～9月）の収支状況をお知らせ致します。限られた財源のなかで健全財政を堅持しつつ町民生活の向上を重点に、行財政の効率的な運営に努めています。この公表を通じ、町の財政がどのような状況にあるかをご覧いただき、住みよいまちづくりに関心を持っていただくことにも一層のご理解とご協力をお願いします。

## 歳入

執行率  
42.3%

予算額：56億3,615万円  
収入済額：23億8,291万円

3億1,235万円 1億5,426万円 (49.4%)	町税
19億5,612万円 16億798万円 (82.2%)	地方交付税
8,568万円 3,786万円 (44.2%)	使用料及び手数料
2億6,667万円 2,946万円 (11.0%)	国庫支出金
5億8,013万円 1億9,094万円 (32.9%)	道支出金
1億7,674万円 6,792万円 (38.4%)	財産収入
8億4,884万円 (0.0%)	繰入金
1億654万円 910万円 (8.5%)	諸収入
6億1,890万円 — (0.0%)	町債
6億8,418万円 2億8,539万円 (41.7%)	その他

※上段が予算額、下段が収入・支出済額で（ ）は執行率です。

## 歳出

執行率  
31.4%

予算額：56億3,615万円  
支出済額：17億7,110万円

6億1,425万円 1億5,168万円 (24.7%)	総務費
6億8,769万円 2億6,623万円 (38.7%)	民生費
4億4,325万円 1億2,861万円 (29.0%)	衛生費
10億4,236万円 2億2,372万円 (21.5%)	農林水産業費
3億5,231万円 1億1,917万円 (33.8%)	商工費
5億9,885万円 2億1,590万円 (36.1%)	土木費
2億4,198万円 8,332万円 (34.4%)	教育費
3億9,279万円 1億9,696万円 (50.1%)	公債費
4億672万円 43万円 (0.1%)	諸支出金
6億3,369万円 3億4万円 (47.3%)	職員費
2億2,226万円 8,504万円 (38.3%)	その他

### 町税の収入状況

税区分	予算額	調定額	収入済額	収歩 割合
町民税	1億3,758万円	1億5,140万円	5,069万円	33.5%
固定資産税	1億3,618万円	1億4,057万円	7,909万円	56.3%
軽自動車税	981万円	976万円	960万円	98.4%
たばこ税	1,885万円	1,014万円	1,014万円	100%
入湯税	993万円	474万円	474万円	100%
合計	3億1,235万円	3億1,661万円	1億5,426万円	48.7%

## 特別会計

会計別	予算額	収入済額	支出済額
養護老人ホーム	3億492万円	1億6,456万円	1億585万円
特別養護老人ホーム	3億916万円	1億1,540万円	1億2,600万円
高齢者グループホーム	4,165万円	1,711万円	1,627万円
介護保険	4億199万円	1億6,383万円	1億4,147万円
国民健康保険	5億6,365万円	2億2,408万円	2億3,533万円
後期高齢者医療	5,581万円	1,322万円	1,389万円
公共下水道	2億3,235万円	9,385万円	9,023万円
合計	19億953万円	7億9,205万円	7億2,904万円

## 公営企業会計

会計名	区分	予算額	執行額
水道事業会計	収益的	収入	2億833万円
		支出	2億1,880万円
	資本的	収入	142万円
		支出	3,273万円

## 町債の借入予定

事業名	借入予定額
過疎対策事業債	4億9,670万円
沼田町立診療所医療機器購入事業	9,250万円
除雪センター第2車庫整備事業	7,290万円
旭町幹線舗装補修事業	880万円
高穂幹線高穂1号橋補修事業	860万円
高規格救急自動車購入事業	2,540万円
地域密着多機能型総合センター建設事業（地域あんしんセンター）	5,220万円
地域密着多機能型総合センター建設事業（総合通所サービスセンター）	9,100万円
米穀低温貯留乾燥調施設整備事業	1億4,530万円
公共事業等債	1,250万円
経営体育成基盤整備事業	1,250万円
臨時財政対策債	1億970万円
合計	6億1,890万円

## 沼田町の財政状況を 家計に例えたら・・・

沼田町の財政を家計に例えたら、年収約306万円（税収・税外収入）と親からの仕送り約195万円（地方交付税）を合算した約501万円が年額収入となり、このうち約39万円は借金の返済（公債費）に充てなければならず、実際に可処分所得として使えるのは約462万円となります。一方、この家計は、家計費（一般歳出）として年間約524万円を必要としており、収入でまかないきれない約62万円は、借金（公債金収入）として調達しなければなりません。その結果平成28年度末には、ローン残高（公債残高）は約315万円、貯金残高（基金残高）は約278万円となっています。

### 家計に例えた場合

○1世帯年収	306万1,130円
○親からの仕送り	195万6,120円
○ローン元利払（B）	39万2,790円
○可処分所得【年収+仕送り-（B）】	462万4,460円
○家計簿	524万3,360円
○不足分=借金	61万8,900円
例：自動車購入	
※除雪機購入等の必要な経費の不足分（可処分所得の不足分）を補うのが借金です。	
○ローン残高予定	314万5,540円
○貯金残高予定	278万3,490円

### 平成28年度財政状況【一般会計】

○税収+税外収入	30億6,113万円
○地方交付税	19億5,612万円
○公債費（A）	3億9,279万円
○税収等+地方交付税-（A）	46億2,446万円
○一般歳出	52億4,336万円
○町債収入	6億1,890万円
例：高規格救急自動車購入事業	
※毎年必要なお金でなく、臨時的に必要な多額の事業費の財源とするのが町債です。	
○町債残高予定（H28年度末）	31億4,554万円
○基金残高予定（H28年度末）	27億8,349万円

# 財政推移

## 地方交付税の推移

平成27年度の地方交付税額（普通交付税、特別交付税）は、25億3450万円で昨年（25億1914万円）より1536万円増加しました。

また、平成12年度が地方交付税額のピークの年（29億3441万円）であり、比較すると約86.4%の水準となっております。

## 町債（まちの借金）の推移

平成27年度末の町債（借金）残高は、28億8440万円でH26年（29億6706万円）より8266万円減少しました。

ピーク時だった平成13年（68億7133万円）と比較すると約40億円減少しています。

## 性質別経費（歳出）の推移

義務的経費は法律で支払が義務付けられているもの、収入が減っても簡単に減らせないもので、人件費（職員給与や議員、委員の報酬など）、扶助費（生活困窮者、児童、老人、障がい者等支援の経費）、公債費（借入金の返済に要する経費）などです。

投資的経費は道路の基盤整備、公共施設の建設、災害復旧費や用地取得などの資産形成に係る事業に要する経費などです。

その他は、公共物の維持や補修などの経費です。

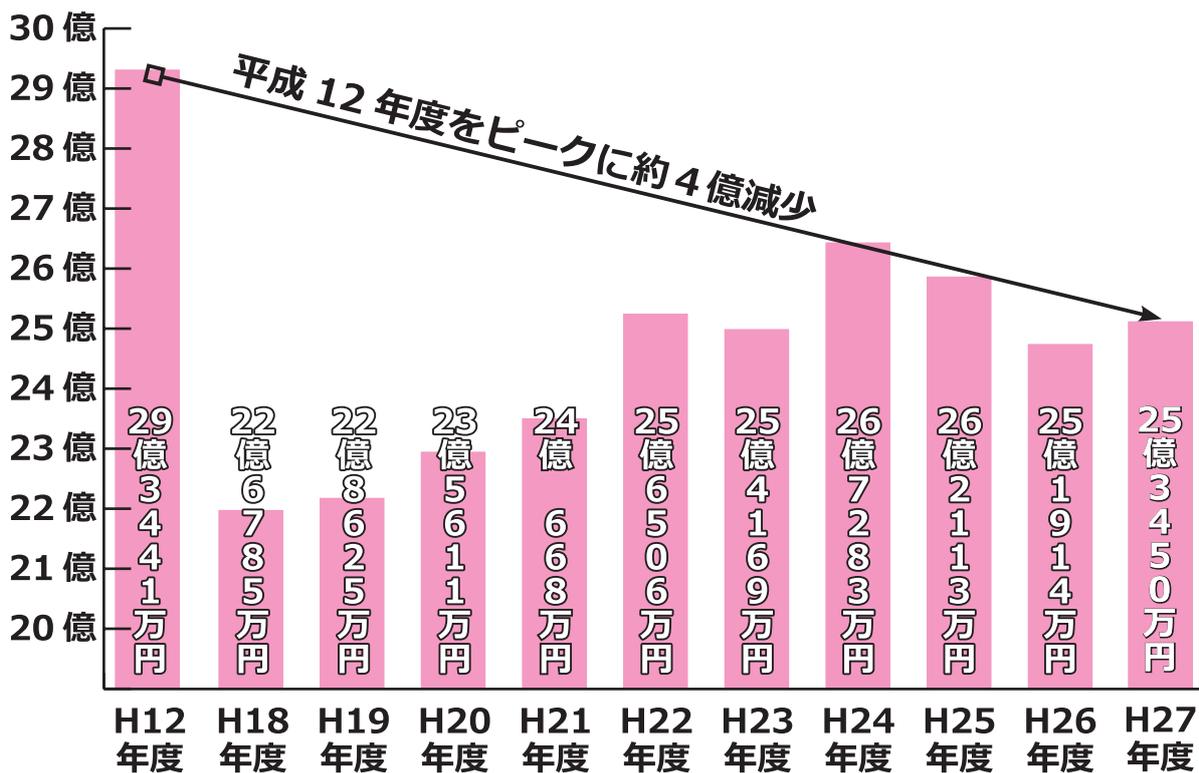
## 基金（まちの貯金）の推移

財政調整基金とは、災害復旧、その他緊急を要し、又は必要やむを得ない財政需要に応ずる財源を積立てるための基金です。

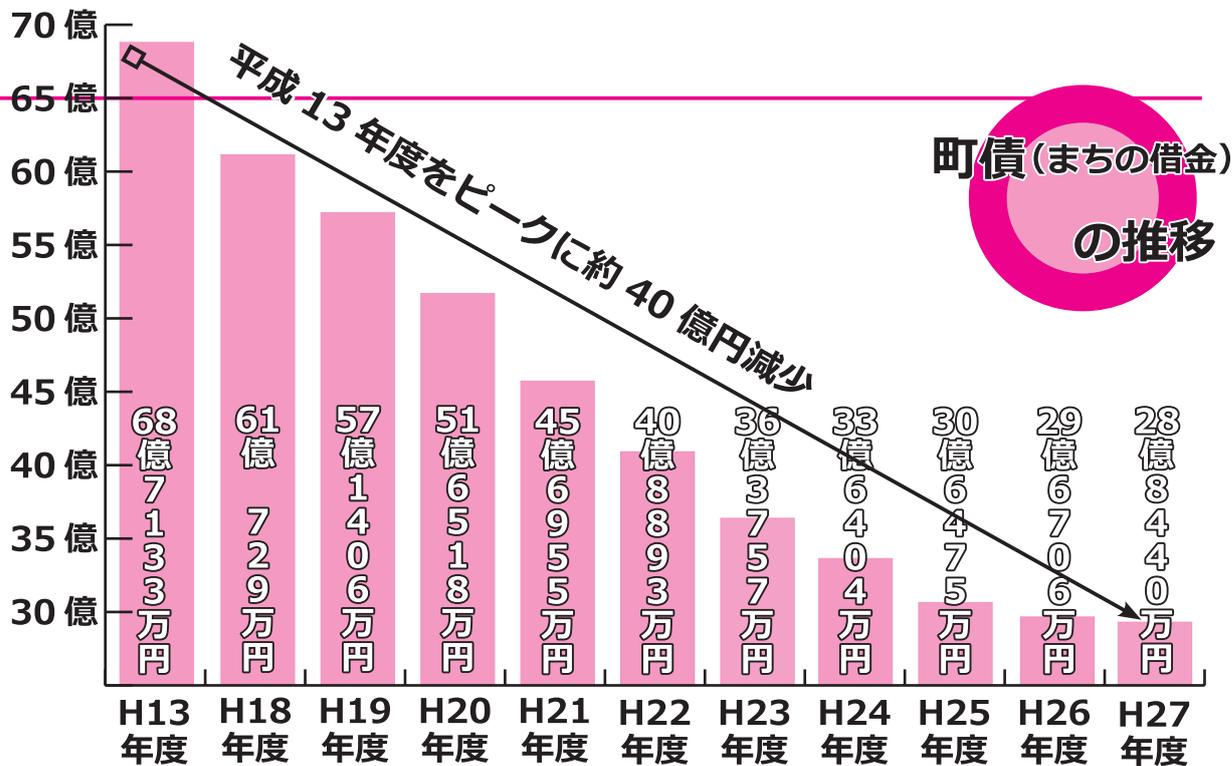
減債基金とは、町債の償還に必要な財源を確保し、もって将来にわたる町財政の運営に資するための基金です。

平成27年度は、ふるさとづくり基金指定寄附金の増加により、年度末基金現在高が増加しています。

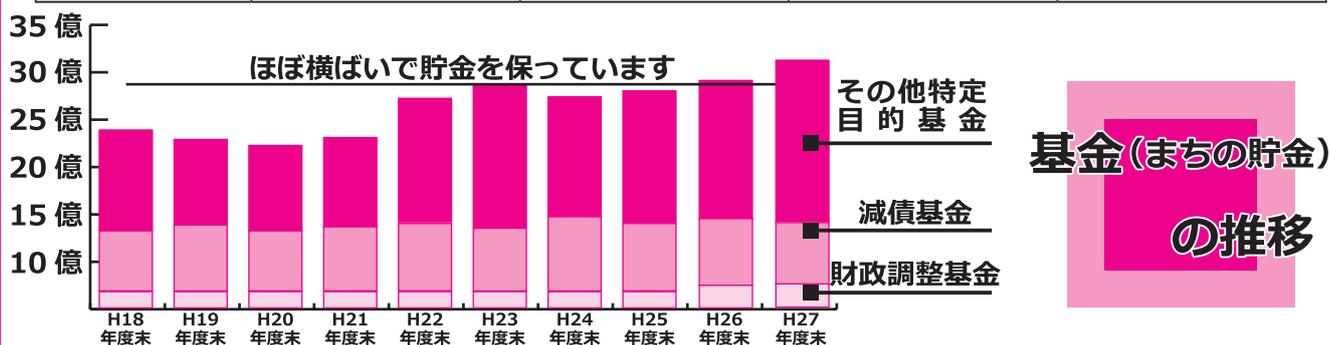
## 地方交付税の推移



# まちの家計簿



年 度	財政調整基金	減債基金	その他特定目的基金	年度末基金残高
平成18年度末	3億7,515万円	9億3,174万円	11億3,737万円	24億4,426万円
平成19年度末	3億1,559万円	9億4,385万円	11億3,408万円	23億9,352万円
平成20年度末	3億1,598万円	8億6,746万円	11億723万円	22億9,067万円
平成21年度末	3億1,632万円	6億8,219万円	13億5,413万円	23億5,264万円
平成22年度末	3億9,642万円	6億4,196万円	15億8,794万円	26億2,632万円
平成23年度末	3億3,478万円	6億6,898万円	18億2,420万円	28億2,796万円
平成24年度末	3億3,513万円	6億9,280万円	16億1,196万円	26億3,989万円
平成25年度末	3億7,597万円	7億1,663万円	16億5,616万円	27億4,876万円
平成26年度末	4億8,600万円	6億4,650万円	17億2,390万円	28億5,640万円
平成27年度末	4億1,648万円	6億4,717万円	21億6,542万円	32億2,907万円



## 性質別経費 (歳出) の推移

